

○75番真下紀子君（登壇・拍手）（発言する者あり）私は、日本共産党北海道議会議員団を代表して、議案第116号北海道副知事の選任について、議案第117号北海道教育委員会教育長の選任について、議案第118号北海道監査委員の選任について、それぞれ同意を求める件について反対の立場から討論いたします。

副知事及び教育長の選任については、これまで、国が国がと、国の政策に追随し、外需頼みの施策を展開する高橋道政を幹部として支えてきた経済部長、総合政策部長を、副知事、教育長にそれぞれ充てるもので、女性の登用は今回も見送られました。

高橋知事4期目をあと1年残しながら、これまでの踏襲にすぎません。

本道が抱える格差の拡大、非正規雇用の増加、基幹産業や看護・介護・保育分野等の担い手不足、鉄道の維持存続等に対し、地域、道民から切に望まれる課題解決こそ優先すべきであり、道民本位の道政への回復を求める立場から、反対です。

次に、監査委員の選任の件についてです。

そもそも、監査委員は、道の行財政運営が公正かつ効率的に行われているかどうかを独立した立場で監査する任を負っています。

発注部局の幹部からの監査委員の選任は、1979年——39年も前の昭和54年までさかのぼらなければ前例を見ないほど異例であり、独立性、中立性の面からも、道民の誤解を招きかねないものであり、賛成できません。

以上、申し上げ、反対討論を終わります。（拍手）（発言する者あり）